

北アルプス日本海広域観光連携会議 第4回広域観光連携専門委員会

平成30年2月15日
糸魚川市役所 203・204 会議室

1 開会

2 報告

- (1) 大糸線キハ52 限定ストラッププレゼントキャンペーンについて…… 別紙

3 審議事項

- (1) 平成29年度決算（案）について …… 資料1
(2) 平成30年度事業計画、予算（案）について …… 資料2
(3) 今後のスケジュールについて

3/23（金） 幹事会（14：00～糸魚川市役所 201.202 会議室）

5/15（火） 総会（16：00～ヒスイ王国館）

4 その他

第4回広域観光連携専門委員会 出席者名簿

区 分	団体名	所属	職名	氏名	出欠	備考
専門委員	上越市	産業観光部観光振興課	主事	丸田 歩	○	
	大町市	産業観光部観光課	観光係長	遠藤 俊治	○	
	白馬村	観光課	観光係長	長澤 肇	○	
	小谷村	観光振興課観光商工係	観光商工係長	中村 洋隆	○	
	朝日町	商工観光課	主幹	平坂 昌美	○	
	新潟県糸魚川地域振興局	企画振興部地域振興課	地域振興専門員	高橋 優	○	
			主事	佐藤 友哉	○	
	長野県北アルプス地域振興局	商工観光課	主事	石田 和成	○	
	糸魚川市観光協会		事務局長	滝川 一夫	○	
			事務局員	後藤 陽子	○	
	上越観光コンベンション協会		営業係長	福島 大		
	大町市観光協会		専務理事	小松 令子		
	白馬村観光局		事務局長	福島 洋次郎	○	
			営業課	営業プロデューサー	伊達 仁彦	○
	白馬商工会		経営支援員	横川 敦		
	小谷村観光連盟		事務局長	菊原 昭一	○	
小谷村商工会		総務主幹	中村 豊	○		
朝日町観光協会		事務局長代理	鍛冶 正弘	○		
事務局	糸魚川市	産業部交流観光課	課長補佐	山本 喜八郎	○	
			主査	中村 真義	○	

平成29年度 収入支出決算見込み

【収入の部】

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	比較増減	説 明
	6,289,000	6,289,000	0	
1. 負担金	4,000,000	4,000,000	0	糸魚川市
	630,000	630,000	0	上越市
	890,000	890,000	0	大町市
	275,000	275,000	0	白馬村
	94,000	94,000	0	小谷村
	400,000	400,000	0	朝日町
2. 雑収入	150,676	160,020	9,344	総会交流会費、預金利息
3. 繰越金	1,919,324	1,919,324	0	
計	8,359,000	8,368,344	9,344	

【支出の部】

科 目	予算額	決算額	比較増減	説 明
1. 事業費	7,475,000	6,029,665	-1,445,335	
広告宣伝	1,000	0	-1,000	
誘客宣伝	4,600,000	3,734,576	-865,424	訪日プロモーション地方連携事業
二次交通	2,674,000	2,095,089	-578,911	鉄道魅力発信事業、冬季シャトルバス運行事業
ホームページ管理	200,000	200,000	0	ホームページ管理
2. 連携会議運営費	415,000	379,208	-35,792	
会議費	200,000	179,208	-20,792	総会、交流会等
事務委託費	200,000	200,000	0	糸魚川市観光協会委託
事務通信費	15,000	0	-15,000	消耗品、事務通信費等
3. 予備費	469,000	0	-469,000	
予備費	469,000	0	-469,000	
計	8,359,000	6,408,873	-1,950,127	

事業計画、執行状況等に応じて、科目間の流用を行えるものとする。

収入8,368,344円 - 支出6,408,873円 = 差引1,959,471円 は次年度に繰り越す

誘客宣伝

訪日プロモーション地方連携事業（拡充） （旧ビジット・ジャパン地方連携事業）

1 趣旨

平成28年度より実施した当事業により、各市町村でサイクルスポーツへの関心が高まり、環境整備へ向け動き出した。ターゲットである台湾からの照会も入ってきており、プロモーションを継続することで認知度の向上と誘客拡大を図る。

2 事業計画（案）

(1) 旅行会社招請（平成30年6月）

サイクルツアー商品を造成している旅行社をエリア毎の見所の時期に招請し、今後のツアー商品造成に繋げる。4社4名招請予定。

◇日本海北アルプエリア及び白馬サイクルフェスタ

【行程案】 4泊5日

6月 富山きときと空港in⇒朝日町⇒ひすい海岸⇒バタバタ茶体験⇒小川温泉
高田公園⇒雁木通り⇒春日山城⇒久比岐自転車道⇒マリンドリーム能生⇒弁天岩・白山神社
ホテル国富アネックス⇒JR大糸線・サイクルトレイン⇒南小谷⇒千国の庄資料館⇒牛方の
白馬岩岳MTBパーク⇒白馬サイクルフェスタ前夜祭⇒白馬サンバレーホテル⇒白馬サイク
ルフェスタ⇒大町温泉郷⇒白馬⇒富山空港

(2) 旅行博出展及びセールススクール（平成30年5月）

5月に開催される台北国際観光博覧会（TTE）に出展し、エンドユーザーに直接訴えかける。また訪台中、旅行会社やサイクルクラブ（ショップ）を訪問し、認知度向上と誘客支援に結び付ける。

◇台北国際観光博覧会 2018年5月4日～7日開催

◇台湾主要旅行会社 台北10社

◇サイクルショップ 台北10社

(3) メディア招請（平成30年7月・10月）

パワーブロガーでもあるサイクリストをエリア内で実施されるサイクルフェスタに招請。体験談をSNS等を通じて発信してもらう。

◇北アルプス山麓グランfond（白馬村：7月開催予定）

◇グランfond糸魚川（糸魚川市：10月開催予定）

◇各大会5名 3泊4日

(4) 印刷物・映像制作

・サイクルショップ及び旅行会社掲出用ポスターの制作

3 目標

エリアの認知度向上

インバウンド受入環境整備
新たな観光ルートの構築

4 スケジュール

2017年（平成29年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
旅行会社招請			○									
旅行博出展・セールスコール		○										
メディア招請				○			○					
印刷物・映像制作	○											

5 事業費（概算）

3,900,000 円

（国の負担決定額2,600,000円）

内 訳 （ 単 位 ： 千 円）	旅行会社招請	国負担額	北ア負担額	総事業費
	地方：航空券、国内移動費、通訳費、宿泊費等	840	1,140	1,980
	旅行博出展・セールスコール	国負担額	北ア負担額	総事業費
	国：出展費、通訳費、現地移動費 地方：宿泊費、航空券	960	1,020	1,980
	メディア招請	国負担額	北ア負担額	総事業費
	国：現地移動費、通訳費 地方：宿泊費、航空券	800	1,377	2,177
	印刷物・映像制作	国負担額	北ア負担額	総事業費
	国：動画制作費 地方：ポスター制作費、翻訳費		350	350
	計	2,600	3,887	6,487

二次交通

冬季シャトルバス運行事業（継続）

1 趣旨

冬季、白馬バレーに滞在する外国人観光客に、夕食を目的とした交通手段の提供と受入態勢を整えることでエリア内の観光流動を創出する。

2 事業計画（案）

(1) 実施から4年目（H27年度～）となるシーフードシャトルバスの継続実施。継続することで認知度向上を図り、利用客へ日本海まで近いことを心理的に意識づける。

※平成27年度利用実績 100名（日本人客44名・外国人客56名）

※平成28年度利用実績 125名（日本人客87名・外国人客38名）

※平成29年度利用実績 127名（2月14日現在）

【H29年度の行程】

エコーランド(17:00) == 白馬東急ホテル(17:10) == 八方インフォメーションセンター(17:15) == 白馬山麓ツアーズ(17:20) == 南小谷駅(17:40) == 糸魚川駅(18:30~21:30) == 南小谷駅(22:25) == 白馬山麓ツアーズ(22.35) == 八方インフォメーションセンター(22:40) == 白馬東急ホテル(22:45) == エコーランド(22:55) ※マイクロバス27人乗り

(2) 事業運営は糸魚川シーフードシャトルバス事業実行委員会（糸魚川青年会議所内）。これまでの振り返りを行うなかで、より実績が上がるよう取組を強化する。



【課題】

- ・ 運行時間
- ・ 宣伝方法
- ・ 利用率向上の取組

3 目標

新たな観光ルートの構築
交流人口の拡大

4 スケジュール

2018年（平成30年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
							企画・調整					
										運行		

5 事業費（概算）

400,000 円

二次交通

鉄道魅力発信事業（拡充）

1 趣旨

在来線の魅力をアピールすることで来訪意欲を創出する。

2 事業計画（案）

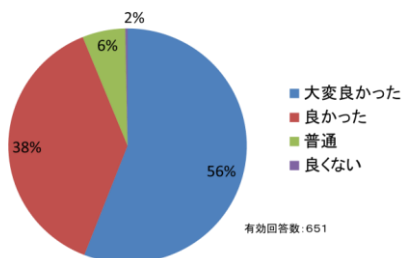
(1) 鉄道限定グッズの配布・キャンペーンの実施

- ・ H28・29年度は、糸魚川～信濃大町間の利用者増を図る取組みを行った。
H30年度は、日本海ひすいライン、あいの風鉄道において、取組みを行う。
- ・ 日本海ひすいライン、あいの風鉄道の主要な駅にスタンプ台を設置。
- ・ ストラップに付属する駅名プレートは3種用意。
(直江津・糸魚川・泊)

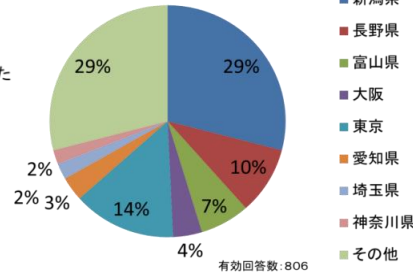
H30年度実施（案）
「ET-122系ストラッププレゼントキャンペーン」
 ①期間：平成30年8月16日（木）～11月25日（日） ②個数：1,000個（各駅300～400個）
 ③内容：スタンプ押印済台紙と有効な乗車券の提示でストラップと交換。

●H29年度実施データ

キハ52フィギュアストラップの感想



住まい



(2) 情報発信

- ・ 自治体広報、ホームページ掲載
- ・ 各駅にポスター掲出



3 目標

認知度向上・来訪意欲の創出

4 スケジュール

2017年（平成29年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		ストラップ製作										
		宣伝				キャンペーン実施						

5 事業費（概算）

1,200,000 円

<内訳>

- ・ フィギュアストラップ製作 800,000円
- ・ ロイヤリティ 10,000円
- ・ チラシ・ポスター 300,000円
- ・ ときめき・あいの風鉄道沿線見所チラシ 90,000円

HP管理

ホームページ運営管理（継続）

1 趣旨

魅力あるコンテンツを発信することで連携会議のPRを図る。

2 事業計画（案）

- (1) 連携会議の取組みを伝えるほか、イベント開催に合わせた情報更新を行うことで認知度の向上と来訪意欲の創出を図る。
- (2) 広域観光連携を生かした旅行プランを紹介するなど、魅力発信の受け皿とする。
- (3) 各市町村間、観光団体間とのリンクにより露出度の向上を図る。

3 目標

認知度向上

連携会議の魅力情報の発信

4 スケジュール

2017年（平成29年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	運営、管理											

5 事業費（概算）

200,000 円

<内訳>

- ・管理料（年間） 50,000円
- ・情報更新料 1,200円/1h × 120時間 = 144,000円
- ・その他関連作業 6,000円/年

平成30年度 収入支出予算(案)

【収入の部】

(単位：円)

科 目	H30予算額	H29予算額	比較増減	説 明
	6,289,000	6,289,000	0	
1. 負担金	4,000,000	4,000,000	0	糸魚川市
	630,000	630,000	0	上越市
	890,000	890,000	0	大町市
	275,000	275,000	0	白馬村
	94,000	94,000	0	小谷村
	400,000	400,000	0	朝日町
2. 雑収入	151,529	150,676	853	総会交流会費、預金利息
3. 繰越金	1,959,471	1,919,324	40,147	前年度繰越金(見込)
計	8,400,000	8,359,000	41,000	

【支出の部】

科 目	H30予算額	H29予算額	比較増減	説 明
1. 事業費	7,601,000	7,475,000	126,000	
広告宣伝	1,000	1,000	0	広域マップ増刷
誘客宣伝	4,800,000	4,600,000	200,000	訪日プロモーション地方連携事業 他
二次交通	2,600,000	2,674,000	-74,000	鉄道魅力発信事業、シーフードシャトルバス
ホームページ運営管理	200,000	200,000	0	ホームページ管理
2. 連携会議運営費	415,000	415,000	0	
会議費	200,000	200,000	0	総会、交流会等
事務委託費	200,000	200,000	0	糸魚川市観光協会委託
事務通信費	15,000	15,000	0	消耗品、事務通信費等
3. 予備費	384,000	469,000	-85,000	
予備費	384,000	469,000	-85,000	
計	8,400,000	8,359,000	41,000	

事業計画、執行状況等に応じて、科目間の流用を行えるものとする。